

こども環境学会の活動

1. 大会および国際シンポジウム

2004年5月の設立大会以来、毎年4月末に大会・国際シンポジウムを開催し、こどもの環境改善へ向けての提言を発表。参加者は、約1,000~1,500人で、全国から研究者や実践者が集まり、地域のこどもたちも参加します。

2004年設立大会「こどもと環境：都市化の中のこどもたち」

ロジャー・ハート（ニューヨーク市立大学）、ロビン・ムーア（ノースカロライナ州立大学）ほか。



第2回2005大会（東京）「こどもの安全と健康のための環境」

【提言】1. 公園へのプレイ・ファシリテーター（屋外活動支援員）の配置。2. こどものあそび空間、地域コミュニティ空間としての道。3. こどもの育成にふさわしい住環境。4. 学校を拠点とした地域コミュニティ活動。5. こどもを過剰な情報刺激から保護。

第3回2006大会（関西）「こどもと自然」



【提言】1. 地域に根ざした身近な自然体験。2. 自然のすばらしさと怖さを理解。3. 自然の中での“名のない遊び”を大切に。

第4回2007大会（横浜）「こども・まち・おとな」

【提言】1. こどもが群れて遊べる都市（まち）。2. こどもとおとなが共に暮らせる都市（まち）。3. こども、家族に優しい都市（まち）。

第5回2008大会（東海）「こどものまなざしで」



【提言】1. こどもと夢を語ろう。2. おとながいっしょにあそぼう。3. こどものまなざしと個性を尊重。4. 在日外国人のこども環境をより良く。5. こどもが自由に遊べる環境を保障。

第6回2009大会（千葉）「こどもの力」



【提言】1. こどもの力を信じる。2. 大人はこどものドリームメーカー。3. こどもは未来社会を確実にするためのパートナーとしての意識啓発に努めること。ほか全12項。

第7回2010大会（広島）「感性のこどもたち」

【提言】1. 環境というキャンパスに未来を描こう。2. 身のまわりの体験を語り合おう。3. 大人自身が感性をみがこう。4. こどもを見守る技術。5. 未来の平和に向けて語り継ごう。

「子どもたちに支援を！緊急集会」+2011東京集会

第8回2011年大会（東京）は、2011年3月11日に発生した東日本大震災のため中止し、「子どもたちに支援を！緊急集会」を4月23日に開催し、2011年度集会（東京）を12月11日に開催。

第9回2012仙台大会「復興再生：

子ども参画による子どもに優しいまちづくり」



【提言】1. 一人のアイデアから。2. こどもの役割；意見を言う、大人の役割；子どもの声を聴く。3. 計画から実行へ。4. 地域資源を見出し、環境価値を高める。5. たくましく生き抜く力（レジリエンス）を育てる。6. こどもが「今」を生きる時間を大切に。

第10回2013大会（東京）「こどものコミュニティカ」

【提言】1大人が遊び心を。2楽しいまちづくり。3プレイストーリー。4新しい試みに挑戦。5子どもが他者と関わる場。6コミュニティカを広げる空間。7社会制度への発言。8大人が変革の風を。

第11回2014大会（京都）「こどもと歴史・伝統」

日本の伝統文化の何を「未来につなげて」ゆくのかをテーマに開催。

第12回2015大会（福島）「子どもが元気に育つ復興まちづくり」

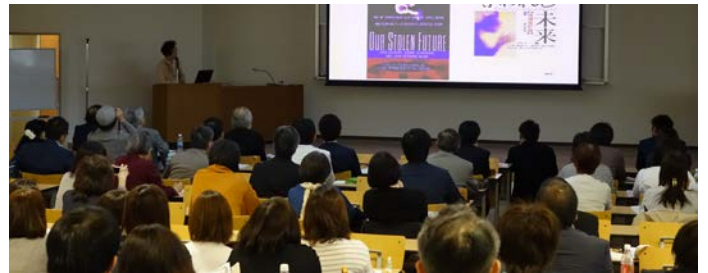
震災4年が経過した福島で、子どもの視点での復興をテーマに開催。

第13回2016大会（富山）「こどもと地域力」

子ども・若者の成長を支える「地域の力」をテーマに開催。

第14回2017大会（北海道）「遊びで育つこどもたち」

遊びを含むさまざまな体験の場の大切さ「遊びで育つこどもたち」をテーマに開催。



第15回2018大会（埼玉）「こどもは未来」

こどもたちが、今現在を精いっぱい生き抜き、未来へとその力をつなぐ「こどもは未来」をテーマに開催。

第16回2019大会（九州）「こどもにやさしいまちの居場所」

何がまちのやさしさであり、どのような居場所こそが必要なのかについて「こどもにやさしいまちの居場所」をテーマに開催。



2. セミナーおよびシンポジウム等

「こども環境学セミナー」などこども環境に関わるシンポジウムや講演会を開催しています。会員外の参加も可能です。



3. 研究会等活動

こども環境研究会北海道、北陸こども環境研究会、こども環境研究会関東、東海こども環境研究会、こども環境研究会関西の地方研究会の他に、発達障害と生活環境を考える会、情育環境研究会、困難をかかえる子どもへの支援研究会が設置されています。



4. こども環境学会賞

こども環境に関する優れた研究、デザイン、活動、自治体施策などを顕彰いたします。論文・著作賞、デザイン賞、活動賞、自治体施策の4部門。入会と同時にご応募もいただけます。ぜひご応募ください。



5. こども環境アドバイザー資格講習会

毎年全国から集まった参加者がともに学び、交流する場となっています。こども環境に携わっている方、これから積極的に活動していきたい方など、多くの会員の参加をお待ちしております。



6. 委員会活動

以下の委員会活動を中心に学会の事業活動を展開しています。総務、学術・研究、情報管理、こども第一運動実行、学会誌編集、出版、企画、セミナー、資格認定、国際、顕彰、地方など

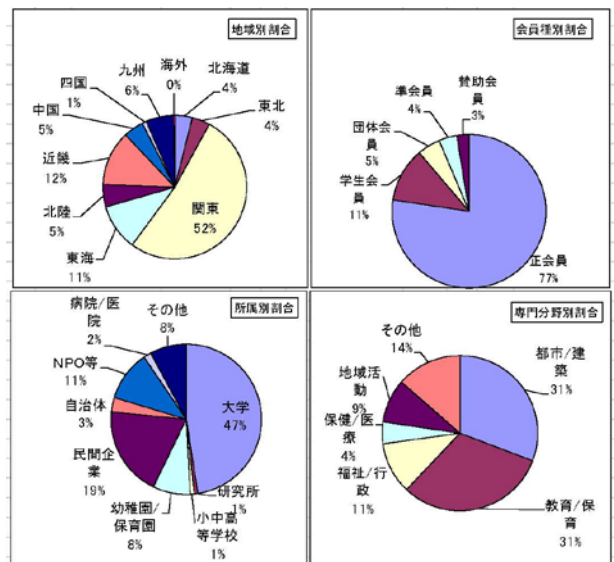
7. 学会誌の発行

学会誌・論文集「こども環境学研究」年3回発行。学術資料と時事の話題や活動報告などをあわせ、研究者と実践者の両方にお読みいただけます。学術論文を随時受け付け、査読後掲載。一般投稿記事も募集しています。会員外の購読も受け付けます。



会員の概況について

2019年4月15日現在の会員数は1,016人です。地域別では関東の方が53%ですが広く全国の方々がご参加されています。所属別では、大学・研究所が48%、民間企業が19%、学校（小中高等学校や幼稚園・保育園）が9%、NPO等活動団体が11%、自治体が3%などです。専門分野別では、都市・建築関係31%、教育・保育関係31%、福祉・行政関係が11%、地域活動関係9%、保健・医療関係5%などです。多様な方々の参加する学会であり、学際性や多様性を活用しハードからソフトにいたるあらゆる面で「こどものためのよりよい環境づくり」に向けて活動しております。ご入会手続きはホームページよりお願いします。



2019年度 役員

代表理事：仙田 満（東京工業大学 名誉教授）
 会長：五十嵐 隆（国立成育医療研究センター 理事長）
 副会長：神谷 明宏（聖徳大学 准教授）
 木下 勇（千葉大学大学院 教授）
 中島 興世（子育てと教育を考える首長の会 事務局長）
 吉永 真理（昭和薬科大学 教授）
 理事：小澤 紀美子（東京学芸大学 名誉教授、東海大学大学院 客員教授）
 福岡 孝純（日本女子体育大学 招聘教授）
 松本 直司（名古屋工業大学 名誉教授）
 大豆生田 啓友（玉川大学教授）
 小柴 満美子（山口大学大学院准教授）
 佐久間 治（九州工業大学教授）
 高木 真人（京都工芸繊維大学准教授）
 渡邊 英則（渡辺学園理事長・ゆうゆうのもり保育園園長）
 専務理事：中山 豊
 監事：宇久田 進治（宇久田会計事務所 所長）
 河原 啓二（福島県南保健福祉事務所所長）
 高橋 勝（横浜国立大学名誉教授）

2019年度 代議員

織田正昭、神谷明宏、北方美穂、佐藤将之、四釜喜愛、島田隆道、仙田考、高木真人、高橋勝、谷本都栄、玉田雅己、富樫豊、仲綾子、中川千鶴、中島興世、増田剛、松本直司、三木祐子、宮本照嗣、三輪律江、吉永真理（以上21名、50音順）